

## プロジェクトの進め方

No. 223

### 目的

プロジェクト運営必須のマネジメントスキルとマインドを学ぶ  
生産的な会議の進め方を身に付ける  
コミュニケーション力の重要性を理解し人間関係を改善する

### 特長

一度体験すれば即日応用可能な会議の技術  
プロジェクト関係者の立場や役割を理解し、即応用可

対象 チームリーダー、プロジェクトリーダー・管理職  
(最適人数 10数名 ~ 最大 30名程度)

### Table of Contents (Total 6H ~ 7.5H)

#### イントロダクション

研修体系における本セミナーの位置づけと役割  
セミナーの目的、内容、進め方およびゴール

#### 1 マネジメントの基礎

マネジメントとは何か？ 求められる成果と役割  
マネジメントの3のスキル(THC)  
代表的リーダーシップのスタイル  
(浪花節型、無関心型、権力型から理想のスタイルへ)

#### 2 参画的ブレイン・ストーミング

ブレイン・ストーミングとは？  
ブレイン・ストーミングの問題点  
パルス討論(探検ネット)で、参画的に意見交換  
メンバー全員で共通認識

#### 3 コミュニケーションの種類と原則

コミュニケーション不全の4つのパターン  
伝わるための、たった一つのポイント  
人間力の発揮(誠実さと共感力)  
ラポート(信頼関係を築くコミュニケーション)

#### 4 人間関係力でプロジェクトを動かす

ヒューマン・マネジメントで成果を生もう  
人材評価の注意点  
ヒューマン・ダイアグラムで人間関係の調整を

#### 振り返りとまとめ

反省点および達成度の確認  
気づきとアンケート

## 発想力と発想会議

No. 224

### 目的

短時間で多様なアイデアを生み出す技術を練習する  
生産的な会議の進め方を体験する  
短時間で現状把握・問題発見する技術を学ぶ

### 特長

野外科学の元祖・川喜田二郎が提唱する取材学の基礎  
川喜田二郎が開発したブレイン・ストーミング術を体験

対象 営業、顧客対応、チームリーダー、管理者  
(最適人数 10数名 ~ 最大 30名程度)

### Table of Contents (Total 6H ~ 7.5H)

#### イントロダクション

研修体系における本セミナーの位置づけと役割  
セミナーの目的、内容、進め方およびゴール

#### 1 記録力

情報収集の原則：内部探検と外部探検  
点から線へ、線から面へ。野外科学の点メモ技法  
感情と思考の見える化  
記録を使って、記憶を整理

#### 2 "実践"「発想力」

「気持ちや考えを発散させる」  
「問題点を見つけ出す」  
「対応策を考える」

#### 3 参画的ブレイン・ストーミング

ブレイン・ストーミングとは？  
ブレイン・ストーミングの問題点  
パルス討論(探検ネット)で、参画的に意見交換  
メンバー全員で共通認識

#### 4 "実践"「発想会議」

「意見を発散させる」  
「問題点を見つけ出す」  
「対応策を考える」

#### 振り返りとまとめ

反省点および達成度の確認  
気づきとアンケート